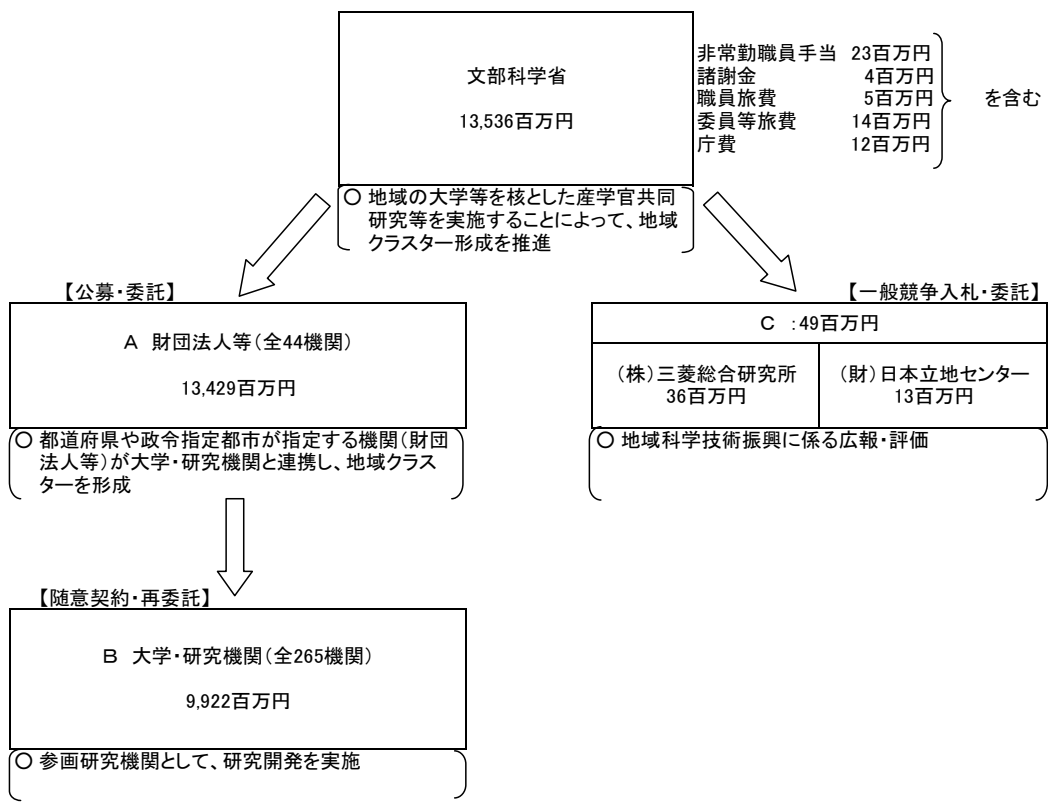
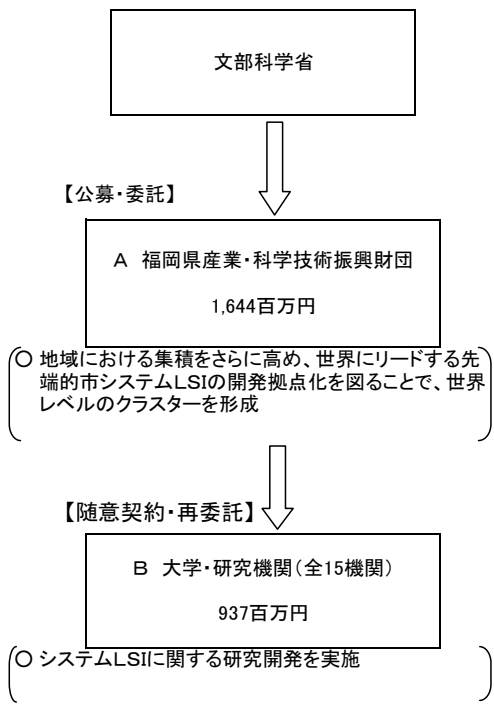


行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	地域における科学技術の振興に必要な経費		事業開始年度	平成14年度		作成責任者
担当部局庁	科学技術・学術政策局		担当課室	科学技術・学術戦略官付 (地域科学技術担当)		科学技術・学術戦略官 (地域科学技術担当) 増子 宏
会計区分	一般会計		上位政策	地域における科学技術の振興		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「第2期科学技術基本計画」(平成13年3月30日閣議決定)、「第3期科学技術基本計画」(平成18年3月28日閣議決定)、「科学技術による地域活性化戦略」(平成20年5月19日総合科学技術会議)、「平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分方針」(平成21年10月8日総合科学技術会議)等		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	競争環境下での採択により地域の主体性を引き出し、地域の大学等を核とした産学官のネットワークを構築することにより、大学の地域貢献機能を強化しつつ、持続的なイノベーションを生み出す「クラスター」の形成を目指す。 ※「クラスター」:産学官の間で網の目のようなネットワークを形成することにより、外部からヒト、モノ、カネを惹きつける集積。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県又は政令指定都市が指定する機関(中核機関)と委託契約を締結し、地域の大学等を核とした産学官共同研究等を実施することによって、地域クラスターの形成を図る。 ＜知的クラスター創成事業＞世界中からヒト・モノ・カネを惹きつける世界レベルのクラスターを形成 ＜都市エリア産学官連携促進事業＞日本各地に小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスターを形成					
実施状況	平成14年度より事業を実施しており、平成21年度は46機関に資金を配分。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13,516	13,769	13,554	12,065	11,359
	執行額	13,377	13,870	13,536		
	執行率	99.0%	100.7%	99.9%		
	総事業費(執行ベース)	19,957	23,859	25,086		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	○採択地域決定前の外部有識者で構成される審査委員会による審査において、複数年度にわたる事業全体の内容を把握。 ○年度毎の契約締結前に、採択当時及び前年度の業務計画からの変更点について、外部有識者で構成される委員会において意見聴取を行うとともに、担当課においても、支出先・使途が事業の業務計画に適したものであるかを確認。 ○事業期間中は、科学技術・学術戦略官を含めた担当職員が可能な限り現地調査に赴くとともに、毎年度全委託機関に対する現地での額の確定作業において、事業の実施状況、支出先・使途及びその妥当性・必要性を確認。				
	見直しの余地	○平成21年度に実施された行政刷新会議「事業仕分け」の評価結果等を踏まえ、大学等の産学官連携体制整備に対する支援施策と一本化するとともに、一本化後のイノベーションシステム整備事業については、継続事業が終了する平成25年度末までに段階的に終了させる。 ○さらに中間評価を実施する地域については、その評価結果に基づき、事業の進捗が遅れているものや成果が上がっていないもの等について、事業の中止や金額の見直しを行うなど、より予算執行の厳格化を図る。				
予算監視の所見率化チーム	1. 事業評価の観点:この事業は、地域の大学等を核とした産学官のネットワークを構築し、持続的なイノベーションを生み出す「クラスター」の形成を目指す研究開発に関連した公募型事業である。 2. 所見:昨年11月の事業仕分け等を踏まえ、継続課題が終了する平成25年度をもって廃止することとした上で、平成22年度から「イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)」として実施しているところであり、廃止に向けた取組を着実に進めるべきである。その際、平成22年度に補助金化したことに対するフォローアップを適切に行うとともに、各地域の進捗状況に対する厳格な評価を実施するなど、事業の効率化を一層進めるべきである。					
補記	○平成22年度より、地域の主体的な取組及び弾力的な運用を促進するために補助金化する等、大幅な見直しを実施。 ○平成19年度から平成20年度に115百万円の繰越しがあったことから、平成20年度の執行率が100%を超えている。					

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて
 補足する)
 (単位:百万円)



(福岡県産業・科学技術振興財団のケース)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A (財)福岡県産業・科学技術振興財団					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	システムLSIに関する研究開発委託	937			
人件費	業務担当職員、補助者	377			
雑役務費	研究進捗及び事業化促進に係る指導補助、EDAツール保守等	143			
一般管理費	一般管理費(直接経費の10%)	64			
その他	消耗品費、旅費、諸謝金等	123			
計		1,644	計		
B 国立大学法人九州工業大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	補助者	98			
設備備品費	研究機器	79			
消耗品費	研究用消耗品	43			
旅費	国内旅費、外国旅費、外国人等招へい旅費	37			
一般管理費	一般管理費(直接経費の10%)	31			
試作品費	研究用試作品	19			
その他	雑役務費、電子計算機諸費、消費税相当額等	34			
計		341	計		
C (株)三菱総合研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員	21			
一般管理費	一般管理費(直接経費の15%)	5			
諸謝金	委員会出席謝金、査読謝金	4			
旅費	国内旅費	3			
その他	雑役務費、消費税相当額、会議開催費	3			
計		36	計		
計			計		

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A: 文部科学省委託先

	支出先	支出額(百万円)
1	(財)福岡県産業・科学技術振興財団	1,644
2	(財)科学技術交流財団	1,091
3	(財)北陸産業活性化センター	735
4	(財)長野県テクノ財団	706
5	(財)京都高度技術研究所	704
6	(財)先端医療振興財団	665
7	(財)北海道科学技術総合振興センター	640
8	(財)浜松地域テクノポリス推進機構	623
9	(財)千里ライフサイエンス振興財団	566
10	(株)インテリジェント・コスモス研究機構	538
	その他	5,517
	合計	13,429

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

B:福岡県産業・科学技術振興財団再委託先

	支出先	支出額(百万円)
1	九州工業大学	341
2	九州大学	240
3	早稲田大学	175
4	北九州市立大学	112
5	福岡大学	22
6	久留米工業高等専門学校	18
7	北九州工業高等専門学校	10
8	京都大学	6
9	福岡県工業技術センター機械電子研究所	3
10	東京都市大学	3
	その他	7
	合計	937